

受領 令和5年8月31日 1時52分

通告番号 (10) 1/3

令和5年8月31日

読谷村議会  
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員  
與那覇沙姫 印

## 一般質問通告書

第528回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 執行権を持つ村長に地方自治の本旨を問う</p> <p>(1) 地方自治の本旨とは。</p> <p>(2) 住民自治にとっての団体自治の役割をどう考えているか。</p> <p>(3) 健康推進課、こども未来課、福祉課、健康保険課職員一人あたりの自治体人口は。</p>	
<p>2 地方自治の本旨から学校給食無償化を考える</p> <p>(1) 沖縄県知事による県の給食費無償化に向けた作業計画案によると、2025年第三子以降無償化。2026年に完全無償化をめざすとなっている。本村は2025年を待たずに、物価高騰や給食費無償を実現してほしいという村民ニーズに応えていく必要があると考える。村長の見解は。</p> <p>(2) 過去5年の学校給食栄養充足率（カロリー）の県平均と読谷村平均を小学校と中学校別に問う。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、給食費無償化への取り組みを行い、今後の無償化の意味や意義を行政や村民が理解する必要があると考えるが、交付金の活用を考えているか。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>3 本村の子ども子育て支援計画について問う</p> <p>(1) 読谷村教育・保育指針にある認定こども園の実施検討の段階的実施内容と状況を問う。</p> <p>ア 幼稚園・保育園の実態・課題把握・村で実施するメリットの確認。</p> <p>イ 他市町村認定こども園の取り組み視察・研究。</p> <p>ウ 認定こども園実施シミュレーション（人口推計、受け入れ態勢、人員体制、村内再編構想、老朽化施設立て替え、公設・民設等を考慮）。</p> <p>エ 認定こども園運営方針・移行計画等の策定。</p> <p>オ 認定こども園実施施設準備。</p> <p>カ 認定こども園開園。</p> <p>(2) こども園の入所決定方法と保育料徴収方法について。</p> <p>(3) 保育所の入所決定方法と保育料徴収方法について</p> <p>(4) 保育士処遇改善支援金と保育士就労支援金の現在の活用状況は</p> <p>(5) 村立保育所の欠員保育士数を求める。クラス担任以外の週休・休憩・パートタイム保育士も含む。（担任が不在になり、休憩保育士等が担任になった場合は担任としてカウントせず、担任欠員として扱う数を求める）</p> <p>(6) 認可保育所の欠員保育士数はクラス担任以外の週休・休憩・パートタイム保育士も含む。（担任が不在になり、休憩保育士等が担任になった場合は担任としてカウントせず、担任欠員として扱う数を求める）</p> <p>(7) 公立幼稚園の各園の幼稚園教諭と預かり保育者・教育支援員・特別支援員・ヘルパーの欠員数を正確に求める。（担任が不在になり、支援員等が担任員あった場合は担任としてカウントせず、担任欠員として扱う数を求める）</p> <p>(8) 保育士確保・掘り起こしについて考えはあるのか。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>4 子どもは読谷村の未来。子どもの権利の本質を追求する村を目指すことを求める</p> <p>(1) 不登校児童生徒の過去5年の推移は（小学校・中学校で求める）</p> <p>(2) ひきこもりの調査をしているのか、また人数を把握しているのか。把握している人数は。</p> <p>(3) 青少年センター・不登校支援教室・登校支援教室・村内にあるフリースクール・自宅においてのICT等を利用した児童生徒への指導要録上の出席扱いの状況は。</p>	
<p>5 医療的ケア児の災害対策計画について</p> <p>(1) 本村の避難行動要支援者の登録計画状況は。</p> <p>(2) 医療的ケア児の避難所で予測されるケアは。</p> <p>(3) 医療的ケア児の命綱と言える大規模停電への備えはどうなっているか。</p>	